

令和２年第６回佐伯市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和２年６月２６日（金）
開会 １５時９分 閉会 １５時４５分
- 2 場 所 佐伯市教育委員会 市民多目的ホール
- 3 出席者の氏名
教育長 宗岡 功
委 員 米倉 ゆかり 委 員 岩佐 礼子
委 員 平井 國政 委 員 小寺 香里
- 4 事務局
教育部長 渡邊 和彦
次長兼教育総務課長 坪矢 一義
学校教育課長 石井 睦基
社会教育課長 淡居 宗則
体育保健課長 佐藤 好昭
本日の書記 総括主幹 御手洗 薫 副主幹 團塚 竜二
- 5 付議した議案 ０件
- 6 報告事項等 ４件
- 7 その他 ０件
- 8 傍聴人 ０名

開会・点呼

教育長 開会に当たって、一言挨拶を申し上げます。６月の市議会定例会一般質問で、「田中市政の３年間の成果を問う」という質問に対し、市長が３年間の成果を答弁した中の教育の部分で、教育の充実については自校式３校の統合による学校給食センターの整備、台湾への短期留学の支援、ふるさと教育や子どもミュージカルによる表現教育の取組み、この３点を３年間の成果であると答えました。私は、その話を聴いて、２０１７年に策定した「さいきまなびプラン」の第１の施策である学力の支援、豊かな心の育成又は健やかな体の育成のことについて、３年間の成果としての話がなかったこと、つまり教育委員会として成果を上げていないのではないかということを思いました。その時に考えたことは、新聞報道でありますように、平成２０年６月１４日に発覚した県教委汚職事件で、当時、私は県教委で担当をしていましたけれども、佐伯市が、ある意味、管理職選考試験、教員採用試験に口利きを依頼して、ここから事件が発覚しました。その後、県教育委員会と各市町村教育委員会は教育改革を進めながら、学力や体力について成果を上げて、県民への信頼回復に努めてきました。佐伯市は本来であれば、事件の震源地でありますので、この県の改革を先頭を切って引っ張っていかなければならない立場にあったのではなかろうかと思っております。そのような意味で、先ほどの市長の３年間の成果の中で、県が県民に対する信頼回復の一つとして掲げて

いる学力、体力についての成果を答弁していただけなかったことが非常に残念で
ありました。学力、体力が全てではありませんが、学力、体力及び心の教育を含
めて子どもたちの今後に向けて全力を尽くしていかなければならないと改めて思
いました。教育委員さん方のお力をお借りながら、しっかりと子どもたちに力と
意欲を身に付けさせたいと思います。この6月14日は佐伯市にとりましても絶
対に風化させてはいけないと思いますので、そこは意識をしながらよろしく願い
します。

教育長 それでは、委員の出席確認をいたします。
 本日は、全委員が出席です。

教育長 ただいまから令和2年第6回佐伯市教育委員会を開会します。

前回会議録の承認

教育長 前回の第5回佐伯市教育委員会の会議録の承認を岩佐委員お願いいたします。
 (会議録に署名)

教育長の報告

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
- ・県学力調査の実施について
- ・学校の状況について（地域等への情報周知について）

会期の決定

教育長 本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。会議の終了は15時40分を
 予定しています。よろしくお願いします。

議 事

教育長 はじめに、本会議は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の
 規定により公開となります。

【議 案】

教育長 今回、お諮りする議案はありません。

報告事項等

(1) 損害賠償事件の和解及び損害賠償の額の決定について

- (2) コロナウイルス感染症対策に係る各学校の対応について
- (3) 大分県市町村教育委員会連合会総会の書面表決について
- (4) 次回教育委員会までの主要行事について

教育長 以上報告事項ですが、最後にその他、何かございますか。

(確認：特になし)

特にないようですので、以上で本日の第6回佐伯市教育委員会を終了します。

終了15時45分